

Science Cafe in Shizuoka 2020

サイエンスカフェ in 静岡

申込不要
参加無料

サイエンスの最前線を
わかりやすくお話しします。
コーヒーとお菓子をご用意して
お待ちしております。
お気軽にお越しください。

※イラストはイメージです

第143話

3月
19日(木)

はやぶさ2の挑戦

宇宙航空研究開発機構 月崎竜童 (JAXA)

小惑星探査機「はやぶさ2」は、イオンエンジンによって7年約50億kmにおよぶ深宇宙航行を完了し、2020年12月に地球帰還を果たします。「はやぶさ2」は何故、小惑星 Ryugu にいったのか、そこで待ち受けていた困難を如何に解決し、3億km先で60cmの着陸精度を実現したのか解説します。



第144話

4月
23日(木)

化学の目で見る『豊かな海』

理学部・地球科学科 久保篤史

沿岸海域は陸や大気からの物質流入により、外洋域に比べ非常にダイナミックに環境が変化する場所です。人間活動が沿岸海域の炭素・生元素(窒素・リン・ケイ素)循環に与える影響について紹介します。また、そこから見えてくる豊かな海とは何なのか考えてみましょう。



第145話

5月
21日(木)

虚数の生み出す「玲瓏なる境地」

理学部・数学科 足立真訓

虚数と聞くと、空想上の頼りないものという語感がありますが、虚数を用いて関数を調べると、種々の関数の本質を明瞭に捉えられます。複素数を用いた微積分学(複素解析学)の魅力をご紹介します。オイラーの公式、岡潔博士の研究など、マスメディアでも見かける話題にも立ち寄ります。



$$i = \sqrt{-1}$$

$$e^{i\pi} + 1 = 0$$

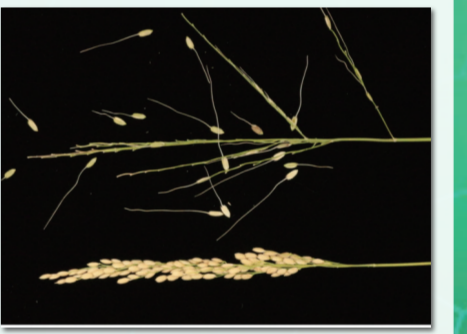
第146話

6月
25日(木)

野生遺伝資源に学ぶイネの生き様

国立遺伝学研究所 佐藤 豊

イネを含む全ての作物は、人為選択により野生の植物が変化し栽培環境に適応しています。この変化を栽培化と呼びます。本講演では、野生のイネの特徴とともに約1万年の稲の栽培化の過程で生じた様々な変化を紹介します。そして、野生イネ遺伝資源から見えてくるイネの環境適応戦略を考えてみたいと思います。また、野生の稲遺伝資源を多数保有する拠点としての国立遺伝学研究所の活動も紹介します。



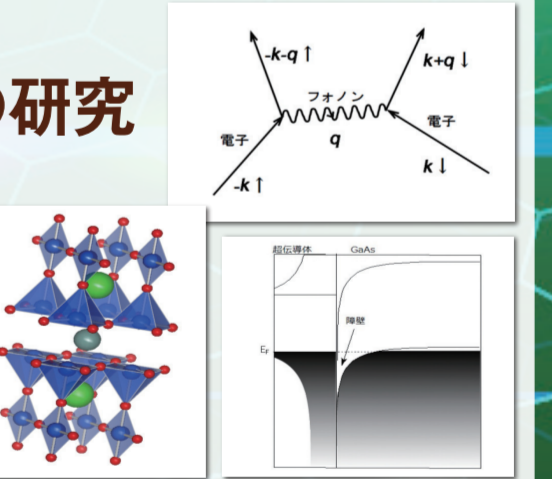
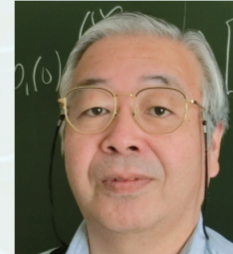
第147話

7月
30日(木)

高温超伝導体の超伝導機構の研究

理学部・物理学科 嶋田大介

高温超伝導体が発見されて30年以上たちました。超伝導体のトンネル伝導度を測定することでフェルミ面近傍の電子の状態密度を測定することができます。この測定によって超伝導機構を解明する研究について解説します。



場所 / B-nest 静岡市産学交流センター

ペガサート6階 プレゼンテーションルーム
静岡市葵区御幸町3-21 <http://www.b-nest.jp>

時間 / 18:00 ~ 19:30 (開場 17:00)

定員150名(先着順) ※満席に達した場合、ご入場頂けません。



主催：静岡大学理学部

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学理学部物理学科 弓削達郎

<お問い合わせ> ☎054-238-3080

[公式サイト] <http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/>

[メールマガジン(まぐまぐ!)] <http://www.mag2.com/m/0001680853.html>

[e-mail] sci-cafe@suml.cii.shizuoka.ac.jp



FACULTY OF SCIENCE
SHIZUOKA UNIVERSITY

(理学部総務係)

サイエンスカフェin静岡メルマガ支店

検索

